

# 牛白血病感染拡大防止のための 器具等の洗浄・消毒方法について

中丹家畜衛生情報 (No.28-4)

平成 28 年 5 月発行

牛白血病のうち牛白血病ウイルス(BLV)が原因となる地方病性牛白血病は、近年、発生が増えています。ウイルス感染牛の大部分は無症状ですが、一部が発症し、食欲不振や下痢、体表リンパ節の腫脹や眼球突出などの症状を示し予後不良となります。ワクチンや有効な治療法がないため、農場内での感染拡大防止と農場への侵入防止のための衛生対策が重要です。

ごく微量の感染牛の血液でも感染源となることから、除角、去勢、削蹄、耳標及び鼻環装着等の出血を伴う処置の使用器具は、以下を参考に洗浄・消毒を徹底して下さい。

[農林水産省 牛白血病に関する衛生対策ガイドラインより一部改変]

使用後の器具は、1 頭ごとに水を入れたバケツ等を用いてブラシで器具の表面をこすり有機物を除去した後、消毒薬を入れた別のバケツに浸漬しておく。

農場でよく使われている消毒薬と希釈濃度の一例 (注1)

種類	商品名	消毒薬の希釈濃度	約 10L の水に対する消毒薬の量
逆性石鹼	パコマ	200 倍程度	50mL
	アストップ クリアキル-100	400 倍程度	25mL

(注1)

BLV はエンベロップを有するので、消毒薬に対する抵抗性は低いですが、農場で 1 頭使用ごとに消毒薬を作り直すのは難しいと思われるので、有効希釈濃度の中で中程度の希釈濃度を表示した。

また、複数頭の連続作業を考慮し、これらの作業器具は 2 つ以上用意し、1 つを使用した後、その器具を消毒している間に、別の器具で作業を行うことが望ましい。

一連の作業終了後は、器具の表面をこすり、十分な流水 (10 秒以上、1 リットル以上) で洗浄し、いずれかの方法で消毒する。

煮沸消毒器による  
消毒

沸騰してから 2 分  
間以上煮沸

エタノールによる消毒

消毒用エタノール中に  
10 分以上浸す

逆性石鹼による消毒

30 分間以上浸漬するか、清拭する

- ・パコマ ; 50~400 倍希釈液
- ・アストップ ; 500~1000 倍希釈液

牛白血病対策は、つなぎ替え等の分離飼養、吸血昆虫対策、初乳対策等、様々な対策が必要で、清浄化には多大な努力と時間がかかります。

まずは、人為的に感染牛を増やさないために、飼養者、授精師、削蹄師、獣医師等が協力して直検手袋や注射針の 1 頭ごとの交換、器具の洗浄・消毒に取り組みましょう。

京都府中丹家畜保健衛生所 福知山市字半田 371-2

TEL : 0773-25-1860 (夜間・休日も転送機能で連絡可能)